

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 12 月 15 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	0590300059
法人名	合資会社 大森衛生社
事業所名	樹の里 おおもり
所在地	秋田県横手市大森町字大中島308番地の2 (電 話) 0182-26-8930
評価機関名	特定非営利活動法人 秋田マイケアプラン研究会
所在地	秋田県秋田市東通3丁目9-31
訪問調査日	平成20年12月13日

【情報提供票より】 (平成20年11月20日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成18年12月15日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤 16人, 非常勤 人, 常勤換算	3.3人

### (2) 建物概要

建物構造	平屋 造り
	1 階建ての ~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円
敷 金	有 ( 円 )	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ( 円 )	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		900 円

### (4) 利用者の概要 ( 11月20日現在 )

利用者人数	18 名	男性 4 名	女性 14 名
要介護 1	4	要介護 2	3
要介護 3	8	要介護 4	3
要介護 5		要支援 2	1
年齢	平均 83.8 歳	最低 64 歳	最高 92 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	横手市立大森病院、医療法人義業会曾根医院、医療法人石成歯科医院
---------	---------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

12月15日で2周年を迎えるホームで、法人代表者は、日々、利用者が利用しやすいための工夫について話し合わせ、その改善を前向きに検討され、設備面への充実を図られています。ご家族の面会も多く、ご家族との絆を大切に、明るく、家庭的な雰囲気の中で、認知症が重度化しても人間としての尊厳や権利を損なわず、最後までその人らしいあり方ができるように、また、自然からの回復力を得、地域の一員として共生できるように支えあうことを理念に取り組みされている2ユニットのホームです。利用者本位、利用者の意向に配慮した生活支援が、自然な形で行われ、ご家族からもホームの対応やサービスに納得され、信頼されているホームです。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)
	ケアプランの目標期日が記載され、本人・ご家族等の同意も得られておりました。また、口腔ケアについても、声掛けが行われ、夜間の入れ歯洗浄も行われ、改善されておりました。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	職員全員で上期・下期の2回、自己評価に取り組み、各項目の理解のための勉強会と今後の取り組みについて話し合いが行われ、記入をされています。また、外部評価を活かし、研修会への参加や勉強会を開催され、ホームの独自性を出せるよう取り組まれています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	今年度に入り、1回だけの開催となっておりますが、行政、地域代表、元民生委員、法人代表者、利用者家族代表、事務長、管理者等がメンバーとなっており、ホームの状況や行事、介護保険制度改正、防災訓練等について報告と質疑応答が次第に沿って行われ、運営推進会議の在り方について協議する等、忌憚のない意見交換が行われています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	契約時の説明や掲示によって、苦情のあった場合の対応方法は確立されております。また、面会時や電話、便り等で意見や要望を引き出す働きかけが行われ、記録と話し合いによって改善が行われています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
重点項目④	毎日の散歩や買い物での挨拶、野菜のお裾わけやお花の鑑賞等の交流機会を持ち、町内のお祭りや行事への参加、協力医院で行っているデイサービスでの行事、近隣施設の行事への参加等が活発に行われ、利用者の皆様も楽しみにされています。また、運営推進会議においても地域の方々を巻き込んだ防災訓練等が話し合わせ、地域に根ざしたホームづくりに取り組まれています。

## 2. 評価報告書

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「人と共に」「自然と共に」「地域と共に」開設時に職員全員の話し合いで決めた理念で、地域の中でその人らしく過ごしていただけるよう取り組まれています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関やホールが目につく場所に掲げ、理念の共有を図り、人として、地域の一員として、自然とも共存できるように交わり、ふれあい、感じられるように日々取り組まれています。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	掃除や散歩、買い物時の交流、町内のお祭りや行事への参加、協力医療機関で行っているデイサービス行事への参加、近隣施設行事への参加等々、積極的に出向き、地域と人々との交流に努められています。		玄関までのお付き合いから、ホーム開催の行事へも地域の方々をご招待できるように取り組まれることを期待します。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は、自己評価の意義を勉強会等によって理解され、年2回の実施に取り組まれ、評価を活かし、改善に向け、積極的に取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	市役所職員、地域代表者、元民生委員、法人代表者、利用者家族代表者等によって構成され、グループホームの活動状況、制度、行事、防災等々、話し合いや意見交換が行われ、サービスの向上に活かした取り組みをされています。	○	今年度は1回より開催できておらず、運営推進会議の意義を理解され、概ね2か月に1回は、開催されることを期待します。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所とホームの情報の提供や近郊のグループホーム協議会を通じて情報交換が行われ、サービスの向上に繋がられるよう取り組まれています。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、電話、毎月の請求書送付時に書面にて暮らしぶりや健康状態等の状況報告が行われています。また、写真の送付も行っています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話、便りでの状況報告時に意見や要望、苦情等が言い出しやすいように働きかけ、さりげない会話の中から引き出しが行われ、文書化され、運営に反映されています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動した職員がコミュニケーションを中心とした馴染みの関係づくりを行い、信頼関係が構築された後、他の職員同様の行動をとるようにされており、大きな混乱もなく、受け入れられています。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については希望や段階に応じ積極的に参加できるように取り組まれ、月1回の勉強会で報告される仕組みがとられています。また、年間の研修計画を策定され、専門知識の習得や研修、さらにOJTの積極的な活用によって、職員の育成が行われています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域医療懇談会や県、横手地区、さらに横手地区の中の西部地区のグループホーム連絡協議会で開催される会議に積極的に参加され、他のグループホームとの情報交換が行われています。また、近隣グループホームとの交流でサービスの質の向上に取り組まれています。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	本人や家族が安心してサービスを利用できるように、見学やお試し利用も可能です。また、入居後、帰宅要求の強い利用者には、家族の協力を得、自宅とホームの行き来によって徐々に馴染めるように工夫をされています。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	アセスメントによって得た情報を元に生活歴やこれまでの生き方を理解され、日々の生活の中で、共に学び、支えあう関係づくりが行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	アセスメントによって一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向が引き出せるように日々の表情、行動で気づくことができるように、話し合いを持ち、把握に努められています。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人の思いや意向、家族の要望等、日々の申し送りやカンファレンス、モニタリング等によって把握に努め、本人がより良く暮らすための課題やケアの在り方について、話し合わせ、反映されたケアプランが作成されています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ケアプランの目標期間を3カ月とされ、1～3か月毎のモニタリングが行われ、新たなケアプランが作成されております。また、支援経過もプランに沿って1月まとめた形式で記載され、わかりやすいものとなっております。	○	毎月のモニタリングによって、状態の把握が行われていますが、変化の観られる利用者については、プランに反映する等の工夫を期待します。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	2ユニットの機能を活かし、大きな行事時の合同企画・協力等が行われ、利用者が各ユニットを自由に行き来が出来る等、柔軟な対応が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関への受診や往診、訪問指導を受けていますが、他に希望の病院がある場合の受診対応も行われております。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	利用者・家族へは、重度化した場合や終末期の在り方について、ホームの体制から限界があることを契約時に説明をされ、更に家族へは、医療相談室やケアマネ、医師との連携で、今後の方針等が話し合われ、納得していただいております。また、職員は、方針を理解し、共有できております。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉の掛け方や対応によって、一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねることのないように、尊厳を持って接しております。また、個人情報保護規定を定め、守秘義務についても十分に配慮されています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりのペースを尊重され、その人らしい希望に沿った支援が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立の作成や調理方法についての助言をもらいながら、買い物から、下ごしらえ、盛り付け等、利用者も交えて調理が行われ、楽しみながらの食事が行われています。また、お絞りたたみやお絞り配り、後片付けも一緒に行われています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は毎日でも可能で、週に2～3回は入浴していただけるように声掛けが行われています。入浴時には、入浴剤を活用し、職員との会話でゆっくりと楽しんでの入浴支援が行われています。		
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴や残存機能・能力を活かし、できること・できそうなことを見つけ出し、一つでも役割が持てるように配慮されております。また、その日の状況を観ながら、思いを引き出し、支援されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホールの周りをいつでも散歩が楽しめるように整備され、また、食材の買い出しや個々の利用者の日常的な買い物等、希望に沿った支援が行われています。		
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解されており、全く鍵はかけられておりません。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災発生時の避難訓練と消火訓練、通報訓練が11月に開催されています。また、地震発生が実際にあり、その際、訓練を活かし、避難誘導が実施されています。	○	地震・火災・雪害・停電時等のマニュアル作成への取り組みを検討中ではありますが、その他に夜間想定避難訓練や訓練回数、また、地域の方々への協力依頼等について検討されることを期待します。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖尿病食の本を参考にされた献立によって単位数で、およそのカロリー計算をされ、栄養摂取状況の把握に努められています。また、水分量のチェック、摂取不足の時の高カロリー食品の代替え食も準備され、栄養面への配慮をされています。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有空間には、季節感あふれる装飾品や家庭的でゆったりとくつろげるソファやテレビの配置、小上がりの広々とした畳敷きの談話室、みんなと一緒に活動できる食堂テーブル等、生活感や季節感を十分に取り入れ、居心地良く過ごせるように工夫されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者本人が身の回りで使用していたものやソファ、ジュタン、箆笥等が持ち込まれ、趣味のものや手作りの作品、家族の手紙、写真等で装飾され、意向に沿った生活スペースを作り出しています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。